

2025年春、ドラフト3位で広島東洋カープに入団した岡本駿投手。
甲南大学初のプロ野球選手として大注目される中、一年目から堂々の一軍入り。
プロ入り初のオフシーズンにキャンパスで監督と語らいました。

開幕戦でマウンドに登場した 期待のルーキー

——2025年春、プロ野球開幕戦。マツダスタジアムで広島東洋カープ対阪神タイガース戦が行われた。9回の表、4番手で登板したのはドラフト3位入団のルーキー、岡本駿投手。記念すべきプロ初登板となった。

谷口監督(以下、監督) まずはプロ一年目、おつかれさまでした。開幕戦では驚いたよ。ちょうど私が現地で観戦した日に、岡本が投げることになるよ。
岡本投手(以下、岡本) ありがとうございます。開幕戦のときは自分でも想定外でした。名前が呼ばれて正直びっくりしました。

監督 ルーキーの開幕戦登板なんて、滅多にないことだからね。岡本も持っているなあと考えたけど、私も持っているなあと考えたよ。
岡本 スタンドからの声援がすごかったです。何万人もの観客が見ている中で投げるなんて初めてなので、プレッシャーはありました。だけど、それ以上にプロのマウンドに立ってる高揚感があった。その勢いで楽しく投げることができました。

監督 プロの舞台でどれだけ通用するのか挑戦心もあったんじゃないか？顔つきで「こいつ楽しんでいるな」とわかったよ。しかし、開幕で登場するとはなかなか強運の持ち主だ。
——初登板ではヒット1本を打たれるも好守に救われ、無失点デビューを果たした。
監督 初登板でプロの打者と対峙した感触はどうだった？
岡本 どの打者もスイングが鋭くて、ボールに

当てる技術も大学野球とはまるで違いました。すべてにおいてレベルが高く、自分もレベルアップしていかなければと思いました。

一年目から一軍入り 通算41試合に出場

——ルーキーでありながら、一年目から一軍入りでプレイする好スタート。この一年は通算41試合に中継ぎ投手として登板した。成績は1勝1敗、防御率2.88だ。

岡本 この一年、ほぼ一軍で投げることで、すごくいい経験をさせてもらえました。
監督 プロの選手にとつては試合はもちろんだが、普段のトレーニングも重要だね。

岡本 はい。現在はもっとパワーをつけるために、全身のパワーアップを目的にウエイトトレーニングを続けています。筋肉が大きくなって、身体ができてきました。体重も学生時代より9キロ増量しています。
監督 身体ができてくるにつれて、投球の質も上がってきたね。
岡本 球に勢いがついた感覚が、投げるとよくわかります。球速が速くなり、コントロールもよくなっています。

監督 投手としては、どんな変化があった？
岡本 意識がすごく変わりました。試合では、打者一人ひとりに対して、全力で打ち取る気持ちでいます。球団の先輩方もおっしゃっていますが、最終的にはメンタルが重要なので、球場入りから全力で気持ちを作っていくようにしています。
監督 岡本の持ち味は、コントロールの良さ。



対談

Shun Okamoto × Junji Taniguchi

プロ一年目 ホームカミング対談

広島東洋カープ

おかもと しゅん
岡本 駿 投手

2025年 経営学部卒業

甲南大学 硬式野球部

たにぐち じゅんじ
谷口 純司 監督

1987年 経営学部卒業



岡本投手のサイン。「一年前と比べてサインもだいぶ上達しました(笑)」。



愛される選手になってほしい。広島ファンのみなさまに

「ピッチングで「精密機械」といわれるほどコントロールのよい投手。その活躍を知る世代からすれば、岡本のピッチングスタイルは方向性が同じで、どこことなく風貌も似ているよ。岡本 北別府投手が現役で活躍されていたころはまだ生まれていなかったもので、人から言われて初めて知りました。広島東洋カープの大エースだった方に似ているといわれるのは、とても光栄です。

① プロにならずに就職していた可能性もあった?!

— 高校時代、シヨートを守っていた岡本選手。肩の強さを見て、谷口監督は投手へ転向させた。大学4年生のころには試合で投げる姿を、プロ野球や社会人野球のスカウトが見にくるまでに成長。だが、プロへの道りは意外にストレートではなかったようだ。
監督 大学3年生のころ、岡本は企業に就職すると言い出した。
岡本 社会人野球のチームをもつ企業の方とお話させていただく機会があった。将来も安定しているし、野球もできる。すごく魅力

的で、ぜひ入社したいと思いました。
監督 あのときは「簡単に就職すると言いな」と叱った。野球より就職が目的になっていくように見えたと、岡本の実力ならプロに挑戦するべきだと言って、就職の話は取り下げさせた。実際、当時はどう考えていた?
岡本 正直、プロになれるとはまったく想像していませんでした。「プロに挑戦しろ」と言われても、最初は(人の人生だからそんなことが言えるのかな)と思っていました。
監督 「人の人生だから」なんて、簡単な気持ちで言ったわけじゃないよ(笑)。岡本は野球に本当に真面目で、先輩投手に積極的に助言を求めたり、自分でもよく研究していた。その実力と熱意を見てきたからこそ、「プロで勝負させてやりたい」と思ったんだ。
— 甲南大学の硬式野球部は阪神大学野球連盟1部リーグに所属しているが、プロになつた前例はなかった。当時経営学部3年生だった岡本投手が、周囲の大学生と同様に就職を考えるのわからないが…。
監督 は、4年生で出場する春のリーグ戦の結果を見てから将来を決めるよう、助言したという。

② 大学時代から変わらない真面目でマイペース

— 現在、岡本投手は球団の寮に入り、野球中心の生活を送っている。
監督 試合はナイターが多いから、生活リズムを合わせるは大変だったんじゃないか?
岡本 もともと夜型なので、むしろよかったです。シーズン中はどうしても夜遅くなりますし、自分の場合は試合が終わった後にウエイトトレーニングをするので、帰って寝るのは夜中の3時です。朝は11時に起き、試合の5時間前には球場入りして、ストレッチなどの準備でコンディショニングを整えています。
監督 寮での生活はどう?

岡本 自分の部屋が、たまたま洗濯室の前で。みんな夜中に洗濯機を回すから、最初はうるさくて眠れなかったんですが、慣れたら全然眠れます。夜も先輩や同期がいるから、みんなでゲームしたりしてすごく楽しいです。
監督 大学に通っていたころは一人暮らしだったから、寮の食事は助かるだろうね。
岡本 3食ついているので、管理栄養士のアドバイスを受けながら食べています。
監督 昔は身体を作るためにもっと食べると言っても、なかなか食べなかったね。逆に放っておいたら2時間くらいずっと食べ続けていたりすると聞いて驚いたよ。
岡本 食べると言われるとプレッシャーで(笑)。自分のペースでなら食べられます。
監督 本当にマイペースだからね。それに加えて岡本には何事にも動じない、いい意味での「鈍感さ」という資質がある。初マウンドでもあれだけの観衆を前に堂々と投げられたのは、それが大きいと思う。投手としては非常に有利な資質だと思うよ。
岡本 自分ではわからないですが、大学時代、ずっとみんなに「天然」って言われていたからそうなのかも。

③ 来季からは先発投手に右腕としての期待が熱い

— 2025年11月、契約更改交渉で年棒が倍増したことがニュースとなった。ルーキーで唯一の開幕一軍入りを果たしてから、これまでの活躍が評価された形だ。
監督 初の契約更改交渉の場では、球団側としっかり話し合った?
岡本 話し合うというよりも、契約金の提示された金額が想像以上だったので、すぐに「はい」と返事し、サインしました。
監督 そういえば学生時代も、バイト先の時給を特に気にしていなかった。昔からお金にあまり

監督 球団のSNSでも「宇宙人」や「不思議ちゃん」とか呼ばれて人気が出てきている(笑)。ファンづくりもプロの仕事の一つだけど、何か自分でもやっていることはある?
岡本 最近インスタグラムを始めましたが、フォロワー数がめちゃくちゃ少ないです。何をアップしたらいいのかわからなくて…。もっとアップしないと先輩からダメ出しされるので、ちょっとずつがんばっています。

頓着しないタイプだったね。

岡本 今は特に欲しいものがないからかもしれないです。契約更改では、今年一年おつかれさまという話と、来シーズンの話をしました。来シーズンは先発投手としてやっていくことが決まったので、年棒にはその分の期待も込められているのかなと思っています。
— 中継ぎから転向するため、一年目の秋には先発にも挑戦していた。秋季キャンプ中に発症した腰痛によって、キャンプメンバーから離脱したものの、リハビリでしっかり調子を取り戻している。十分休息したら、新シーズンがまた始まる。
監督 先発投手に向けて、さらに身体も作っていかないと。
岡本 はい。先発で一年間投げられることを想定すると、もっと強くしておきたいですね。
監督 これからどんな投手になっていきたいかと思ってる?
岡本 やっぱチームを勝たせることが一番。それができる投手になりたいです。
監督 ぜひ勝たせて、広島で愛される選手になってほしい。これからも期待しているよ。

チームを勝たせる投手になる。それが一番の目標です。

